

平成 23 年度第 4 回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所：平成 23 年 7 月 5 日（火）13：30～15：10 評議会室
出席者：曾我理事長（議長）、川口副理事長、大田理事、菊池理事、
布野環境科学部長、松下工学部長、灘本人間文化学部長、
森人間看護学部長、寄本国際教育センター長、
竹下教授、山田教授、地蔵堂教授、斎藤委員、横山理事
欠席者：仁連理事、長谷川教授、山根教授、菅谷委員、井下委員
事務局：堀部事務局次長、垣立総務グループ統括、小島財務グループ統括、
高田経営戦略グループ統括、杉野学生・就職支援グループ統括、
藤野教務グループ統括、橋本図書情報グループ統括、
山田副参事、高谷主任主事

平成 23 年度第 3 回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について
原案のとおり承認された。

議 題

1 履修規程の一部改正について

東日本大震災復興支援に対する学生のボランティア活動の単位化に伴う履修規程の改正について、大田教育担当理事および藤野教務グループ統括より資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、平成 23 年 7 月 5 日から施行することとされた。

（主な質疑、意見等）

- ・被災地に赴かず、その他の場所で被災者の支援や被災地への物資支援のボランティア等も対象になるのかとの質問があり、今回は被災地域での復興支援に対するボランティア活動に限定するとの説明があった。
- ・単位の認定について学生にとってどのようなメリットがあるのかとの意見があり、自由科目であり卒業要件単位にならないが、成績証明書等に記載されることで、学生自身の活動の記録が証明されることになるとの説明があった。

報告事項

1 学生の退学・休学・復学・除籍について

大田教育担当理事より資料に基づき報告があった。

（主な質疑、意見等）

- ・休学者に対して身分を保障したり施設利用等のサービスを提供したりしているのであれば、在籍料や施設使用料等の料金を徴収するべきではないかとの意見があり、本学の現状として、休学者の施設利用等によって大きな弊害が出ておらず、また大学として休学者を支援する立場をとっているため費用を徴収していないが、他大学の状況等を調査して議論を行うとの説明があった。

2 研究生の入学について

大田教育担当理事より資料に基づき報告があった。

3 長浜市との連携・協力に関する協定の締結について

堀部事務局次長より資料に基づき報告があった。

4 第 14 回湖風夏祭および第 14 回京滋公立大学総合競技大会の結果の概要について 杉野学生・就職支援グループ統括より資料に基づき報告があった。

5 各委員会等の結果の概要について

- (1) 第12回理事長選考会議
- (2) 平成23年度第1回図書情報センター運営委員会
- (3) 平成23年度第1回学生支援センター運営委員会
- (4) 平成23年度第2回学生部委員会
- (5) 平成23年度第2回教務委員会
- (6) 平成23年度第1回全学共通教育推進機構全学共通教育運営会議
- (7) 平成23年度第1回全学共通教育推進機構副専攻運営会議
- (8) 平成23年度第2回国際交流委員会
- (9) 平成23年度第3回全学教育構想委員会
- (10) 平成23年度第1回倫理審査委員会
- (11) 平成23年度第2回発明委員会
- (12) 平成23年度第2回および第3回研究戦略委員会
- (13) 平成23年度第3回FDミーティング

(主な質疑、意見等)

- ・ 理事長選考会議の結果概要に関して、議論の内容の公表や選出委員の意思表明を求める意見があり、これまでの経緯および会議の性格から、結果のみを概要としており、議論の内容すべての公表はしないとの説明があった。それに対し、情報公開請求があったときにはどのように対応するのかとの質問があり、理事長選考会議は、大学の定款によって法人に設置された独立した機関であり、公開してよいかどうかの判断は理事長選考会議に諮るとの説明があった。

その他

- 1 オープンキャンパス2011の開催について
藤野教務グループ統括より資料に基づき報告があった。